

令和		5 年度		3 学年		普通 (理系) 科	
教科名	国語	科目名	現代文B			2 単位	
				担当者			
1. 学習目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の語彙を豊かにし、論理的な思考力および表現力を高める。 ・現代社会の諸問題について理解を深め、筆者の主張を踏まえて自分の考えを主張できるようにする。 ・人間や人間社会についての見識を深め、今後の人生に資するものとする。 							
2. 使用教材等							
・教科書名 高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)							
・副教材名 常用漢字ダブルクリア四訂版 キーワードの卵 錬成現代文							
3. 学習項目 (学習内容)							
学期	月	単元	学 習 内 容			時間数	考查
1	4	・評論「写真の持つ力」 ・評論「未来世代への責任」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題としてとらえ直す。 ・ものの象徴性について思索を深める。 			18	中間考查
	5						
	6	・小説「檸檬」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩的感受性、幻想性をとらえ、心理ドラマを通して美的真実について考える。 			18	期末考查
2	7	・評論「いのちのかたち」 ・小説「舞姫」 ・小説「枯野抄」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考え方を的確に捉え、ものの見方を広げる。 ・作品が描かれた時代背景を理解し、主人公の心理や成長を読み取る。 ・小説の手法に触れながら作品を読解し、創作意図とテーマを考察する。 			24	中間考查
	8						
	9						
3	10	・評論「リスク社会とは何か」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考え方を的確に理解し、ものの見方を広げる。 ・現代社会についての認識を深め、自身の問題として捉え直す。 			24	期末考查
	11						
	12						
3	1	・評論「現代日本の開花」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を考察し、視野を広げる。 ・筆者の考え方を理解し、視野を広げ 			21	期末考查
	2						
	3						
4. 評価の観点							
①関心・意欲・態度		国語を用いて伝えあう力や言語文化に対する関心の向上に努める。					
②話す・聞く・書く 読む能力		的確に話すこと・聞くこと・書くこと・読むことを通じ、思考を深化・発展させる。					
③知識・理解		伝統的な国語を理解し、身につける。					
5. 評価の方法							
・定期考查：		学習範囲に応じた到達度					
・課 題：		学習内容に応じた課題提出と完成度					
・授業態度：		出席および積極性					
6. 学習にあたっての注意とアドバイス							
授業以外の日常の言語活動においても正確かつ豊かな国語を論理的に学ぼう、聴く・読む・話す・書く・調べる・考えることを意識して実践しよう。							